

新発田市まちづくり総合計画審議会での御意見などに係る回答

区分	移住・定住・地域間交流の促進、人材育成
項目	移住・定住
成果指標	定住化促進事業を利用し転入した人数
意見	定住化促進事業を利用した人数がR6年に14人に達したことは高く評価できる。実際どのような取組が行われて転入者が増加したのか知りたい。
回答	指標の数値は、定住化促進事業において実施している「住宅取得補助金」を活用し、新築住宅や中古住宅を取得した人数であり、それにより移住・定住が促進されているかを評価しています。 この住宅取得補助金は、市外からの転入者を対象に、住宅の建築及び取得費の一部を補助する制度です。 これ以外にも移住・定住への支援として、リフォーム工事にかかる費用の一部を補助する「中古住宅リフォーム補助金」や、市外からの転入者のうち一定の要件を満たして就労している方を対象に、家賃の一部を補助する「U・Iターン促進住宅支援事業補助金（家賃補助）」なども実施しています。 さらに、以下のように、様々な対象に向けた移住支援施策も実施しており、新発田市への移住促進にも取り組んでいます。これらの施策により切れ目なく支援することで、さらなる移住・定住の促進に努めているところです。 【主な取組】 ○移住支援金 東京圏からの移住者に対し、引越等に係る経費を支援金として支給するもの。 ○子育て世帯移住支援金 首都圏から18歳未満の子どもを帯同し移住する子育て世帯に対し、引越等に係る経費を支援金として支給するもの。 ○奨学金返還支援補助金 県外の大学等に進学し、在学中に奨学金の貸与を受け、卒業後市内にUターンし就労する新卒者に対し、返還する奨学金の一部を助成するもの。

新発田市まちづくり総合計画審議会での御意見などに係る回答

区分	交通移設の整備、交通手段の確保
項目	交通手段
成果指標	公共交通（バス）利用者数
意見	公共交通手段も整備され利用者が2倍以上に増えたことは、市街地への利便性が良くなり高齢者の免許返納につながっていくと考えられる。
回答	利用状況を踏まえつつ、今後も住民との意見交換を継続し、市内先行エリアの好事例も参考としながら、地域の実情に応じた利便性と持続性を両立させた公共交通の整備により、日常生活を支える交通手段の確保に取り組んでいきます。副次的な効果として、高齢者の免許返納につながることもあると考えます。

新発田市まちづくり総合計画審議会での御意見などに係る回答

区分	産業の振興
項目	観光・レクリエーション等の振興
成果指標	観光入込客数
意見	加治川には新発田の北の玄関口として加治川道の駅がある。是非道路利用者の施設としてだけでなく、加治川地域住民の交流の場として利用され、加治川地域の人口が増加することを期待する。
回答	道の駅加治川の指定管理者と緊密な連携を継続し、施設整備やコンテンツの充実により、観光施設としての魅力向上に努めているところです。 今後も誘客促進を図るとともに、農産物直売所における地元契約農家を増やすことでコミュニティを広げ、周年イベントにおいて地域住民参加型の内容を盛り込むことで、地域住民の交流の場となるよう取り組んでいきます。